

# 育てよう 鏡野のよい子シリーズ



## 「子どもの健康を願って」

奥津小学校に赴任して三年目、そして養護教諭としても「三年生」になりました。日々チーム奥津の一員として何ができるか模索しています。そんな中、日々の業務で大切にしていることが大きく二つあります。

一つは、「保健室での支援」です。児童はみんな素直で明るく、いつも私に元気をくれます。ある日、児童が困った表情で私に「膝」とだけ言いに来ました。どうやら膝を擦りむいた痛みのみならず、上手に伝えられなかったようです。数日後、また別の児童が「ここ」とだけ伝えに来てました。このように、保健室に入つて単語しか言わない児童が少なくありません。養護教諭としては、児童の心とからだの痛みを少しでも和らげたいと思っています。同時に、困った時に自分の言葉で人に伝える力も育てる必要があると感じました。保健室に入つたら、まず「いつ」「どこで」「体のどこが」「どうなったか」を説明するように指導しています。説明が難しい場合は、痛みの程度を五段階で表したり、体の部位を確認したりしています。児童へのサポートの方向はまだ模索中です。児童に寄り添いながら、保健室も学びの場にした

もう一つは、「ほけんだより」です。奥津小学校では毎月一回以上発行しています。しかし、ネットで簡単に調べられるこの時代に、児童や保護者の方々が知りたい健康情報とは何か、知っておいてもらいたいことは何か、いつも悩んでしまいます。児童から、「面白いイラストがある」とちよつと気になって読みたくなる」と言われました。読み手の「ちよつ」と気になる」を引き出すことが、「ほけんだより」作りにおいて大切であると気づかれました。それからはイラストやクイズを取り入れるようにしました。児童のメディア利用の実態や、委員会活動で児童のがんばっている様子など、奥津小学校の養護教諭だからこそ伝えられる内容を心がけています。「ほけんだより」は単なる情報提供の媒体ではなく、児童・保護者と繋がるコミュニケーションの一つにしたいです。ぜひ「ほけんだより」を家族と一緒に読んでいただき、自分の心とからだを見つめる時間にしてもらいたいのです。これからの想いを込めて「ほけんだより」を届けていきます。

模索している中で、色々な方々がヒントをくださいます。同僚の先生方、児童、保護者の方々、地域の方々、先輩養護教諭の方々等、皆さんとの関わりで感謝し、これからの養護教諭として成長していきたいです。

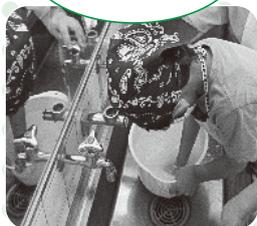
鏡野町生徒指導推進連絡協議会

奥津小学校 矢田 かのん

# のびのびひろば ～おいしいカレーができるまで～



えほんみたいにできるかな？ やってみよう!!



①お米を研ぎます。水が透明になるまで優しく優しく...



②野菜の皮むき。茶色い皮が残らないように丁寧にね!



③野菜が切れたら鍋で炒めて煮込みます



おいくなあれ! いいにおいがする!

(奥津保育園)

トマトきらいだけどちいさくしたらたべられる!



④いただきます〜!

